

絆

赤井むつみ後援会便り第40号

笑顔あふれる温かい町に！

2018年 6月 発行



第2回定例会（6月議会）の主な内容

【補正予算の主なもの】

主な内容	金額	財源内訳		
		国道支出金	一般財源	その他
・まちづくりシンポジウム補助金	185万8千円		164万2千円	21万6千円
・熊石地域統合新設保育園建設実施設計業務委託料	1,250万6千円	(地方債) 1,250万円	192万3千円	
・建築確認申請手数料	3万7千円			
・熊石保育園解体工事実施設計業務委託料	98万3千円			
・相沼保育園解体工事実施設計業務委託料	89万7千円			
・農地耕作条件改善(排水路改修)事業：測量・実施設計業務委託料	782万1千円	1,080万円	11万8千円	
・工事請負費	1,199万7千円	(地方債) 890万円		
・耐震性貯水槽設置工事請負費	2,834万円	538万6千円 (地方債) 2,290万円	5万4千円	
・給食配送車購入費	1,174万5千円	(地方債) 1,160万円	14万5千円	
・温水プール機械器具修繕料	120万6千円		120万6千円	



一般質問

質問 1次産業の後継者支援を！

八雲町の基幹産業である農業・漁業において現在は元気ですが、後継者不足等を考えると、将来が非常に不安です。そこで、町として従来の取り組みをふまえ、より一層の新規就業者確保に向けてどのような取り組みをお考えでしょうか。

先日、北海道新聞に掲載されました「しりうち地域産業担い手センター」のような施設整備も必要になるかと思いますが、その点はいかがお考えでしょうか。

答 住宅支援の在り方を検討開始

農業分野では、町内の関係機関・団体で構成する「農業担い手育成センター」が、募集・研修先の手配、生活や将来に関する様々な相談に対応し、研修生の確保を図っている。水産ではその都度、各漁協が窓口となって対応。元町と野田生に安価な家賃の研修者住宅を7棟10戸用意しているが、築40年以上と老朽化し更新時期を迎えていることから、農業のみならず、広く新規就業者に対する住宅支援のあり方を、来年度に向けて検討を始めたところ。新規に移住しても、仕事だけではなく地域とのかかわりも重要だと思っている。

質問 協働のまちづくりの更なる定着を！

平成22年4月に自治基本条例が制定され、平成24年3月に協働のまちづくり推進プランが策定されました。少子高齢化による人口減少が進む中、どこの自治体も住民と協働でなければまちづくりも難しくなっています。人口減少がない札幌市でさえ、見守りなどをスムーズに行うため、「町内会に関する条例検討委員会」を設置し協議を行って、本年5月7日付で市長に提言書を提出したところです。八雲町でも、町内会離れや審議会委員や各団体の人員不足などの課題があります。そうしたことを数年前から問題視し、策定されたのが協働のまちづくり推進プランだと思うのですが、策定から数年たった今、その成果と課題をどのように捉え、今後どのような展開を考えているのでしょうか。

答 情報共有の機会の提供に努める

地域社会における課題を発見・共有し、町民・議会・行政が、互いに知恵と力を合わせて、課題解決に向かって協力するまちづくりを目指して、「協働のまちづくり推進プラン」を策定した。行政と地域が協力・補完しながら、様々な活動を継続して取り組んできたが、協働のまちづくりの理念は、町民に広く浸透しているとは言い難く、地域におけるつながりが希薄化し、支え合いを含めた地域力の低下が危惧される中、地域コミュニティを担う人材育成と、活動の活性化がより一層求められている。協働のまちづくりを進めていくためには、町民と議会と行政が意識を醸成することが重要であるため、引き続き、その周知に取り組んでいく。また、情報共有を図るとともに、気軽に話し合える場や情報交流の機会提供に努める。

議会報告会を行います！

7月23日（月）午後6時～ ふれあい交流センター くまいし館
7月24日（火）午後6時～ 落部町民センター
午後2時～ はぴあ八雲
午後6時30分～ はぴあ八雲

今回も2班に分かれて行います。私は、熊石地域と落部地区の担当になりましたので、是非、熊石・落部方面に足をお運びください。今回は、議会からの報告はもちろんですが、皆様との意見交換が中心ですので、日ごろのまちづくりに対するいろいろな思いを是非、存分にお話してください。皆さまのお越しを心からお待ちしております。

10年後はどんな社会？



- 世界中の言語の自動翻訳サービスができ、テレビ電話や SNS で言語を気にせずに世界中の人とコミュニケーションしたり、世界のお店とつないで買い物ができる。
 - あなたと相性のいい「性格」を持った人工知能ロボットを誰もが保有し、家事や仕事のサポートを任せたりできる。
 - 足腰が弱ってきても、あなたのもともとの運動能力のデータや健康データを持ったロボット補助具を身に着けて、若い頃の自分と同じ感覚で出かけたり運動したりできる。
- など、わくわくする話もありますが、

- 日本の 65 歳以上人口が 30%を超える。
- 国と地方の借金が 1297 兆円に達する（2017 年度は、1071 兆円）
- 賃貸住宅の空室率が、全国平均で 30%まで悪化する（現状は同 19%）
- 日本の高齢化率が 30.3%に。団塊の世代が全て 75 歳以上に。
- 国民医療費が 61 兆円に（2015 年 45 兆円）
- 会社員一人当たりの保険料が年収の約 3 割へ
- 国内 14 万の橋梁のうち、47%が寿命を迎える

という、深刻な現実も待っているようです。もちろん、八雲町も例外ではありません。人口減少、特に働く人たちが少なくなることで、1次産業の担い手や各企業における深刻な人手不足と税収の不足、消費の縮小などあまり明るくない話題が多くなります。近隣の市では、定員に満たなくても、保育士不足のため、園児を受け入れられない保育園も出てきています。10 年後も安心して住めるように、是非、みんなで知恵を出し合いましょう！



第36回 山車行列 開催!

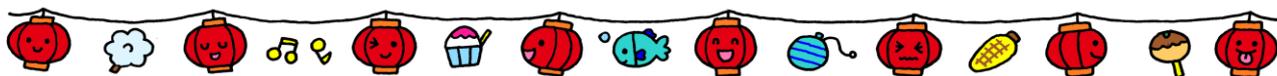
7月6日(金) 7日(土)の2日間、八雲山車行列が行なわれます!

山車行列は今年で36回目になります。6月26日の夕方NHKで山車行列の制作風景が全道に放映されました。また、今回の山車行列のために、タイから10数名の方がいらして下さるそうです。各団体毎晩頑張って作り上げた山車を是非一緒にひきませんか?

私の関係する主な団体では、『ハッピーこまくん』(マリア幼稚園)、『パンプキンスクリーム』(レディースネット&ハロウィンプロジェクト)、『花咲かコロちゃん』(NPOやくも元気村&八雲村と交流を進める会&おやじの会)と、どの山車も『平和と希望』がテーマです。最近、信じられない殺人事件も多く、ご遺族の皆様の心を考えるとやりきれないです。そうしたことが1日も早くなくなり、お互いに支えあい、安心して過ごせる社会をみんなで目指したいと思っています。当日、皆様のお越しを心からお待ちしております。

7日(金):午後7時 図書館を出発し、駅前を通って、役場にゴールします。審査席(ささだ道議事務所横)では、各団体のパフォーマンスを全て見ることができます!

8日(土):午後5時から役場前で、踊りの披露があります。今年はコースが変わります!
午後7時に役場前を出発し、伊藤写真館の前を通って駅前に到着&打ち上げ。
大賞チームの踊りの披露や子ども達用に、お菓子まきがありますよ!



募集します! 山車行列では、今年も『山車行列フォトコンテスト』を行います。

期間は、7月9日~20日までですので、多くの皆さんの素敵な山車行列の写真をお待ちしております。どうぞご応募してください!

映像配信が始まります! 「議会は平日に行われるので、見たくてもなかなか行けないんだよね!」とよく言われるのですが、6月の定例議会の一般質問を録画しました。それをみんなで見ながら、どのような形で配信するかを話し合い、9月定例議会を庁舎内で配信し、12月定例議会から、ユーチューブで映像配信する予定です。

パソコンやスマホでリアルタイムに見ることができますし、休憩時間のカットなど少々編集したものを後から見ることもできます。皆さんとともに歩む議会を目指し、全力で取り組みます。多くのご意見をお待ちしております!

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を!)

赤井自宅 栄町56-12 ☎ 63-2090